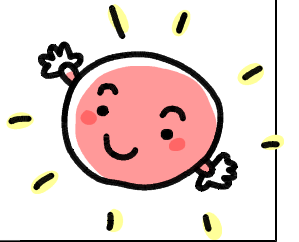


なかよし3



参観ありがとうございました。

5時間目の道徳で、「ちがいのちがい」をやりました。8番の「9才のすすきさんは、毎日学校へ行っていますが、同じ年のオスカーさんは、家のためにガムを売っています」というのがむずかしかったです。わたしは、あっていいところに丸を付けましたが、Sさんが、「学校に行かないと困る。」と言っていて、「たしかにそうだなあ。」と思いました。(生活の記録より)



「ちがいのちがい」という人権教育のワークショップを行いました。8つの違いを「あっていいちがい」と「あってはいけないちがい」に分ける活動です。自分ではいいと思っていたが、他の人の理由を聞いて、自分の考えを見直す子どもたちがたくさんいました。子どもたちの身近な事柄や目で見て分かること(背の違いや文化の違いはよいこと。人によって態度を変えるのはあってはいけないこと。等)は判断できるのですが、障がいを持っている人のことや遠い国の子どもたちのおかれている状況を判断するのが難しかったようです。それでも、子どもたちの中には、自分事のようにそれらの不平等に気づき、「かわいそうだから、あってはいけないちがい。」等と、その考えがたった一人だけであっても、自分の意見を述べられたことはすばらしいことでありましたし、周りの子達も「う〜ん。」と一生懸命考えていたのもすばらしかったと思います。お家の方には、班の話し合いに参加してくださったり、温かな目を見ていただいたりしました。ありがとうございました。子どもたちの考えが、少しでも広がったら、嬉しいです。



<保健：命のつながり>



<くぎうちトントン>



<チャレンジ運動 4年生といっしょ>